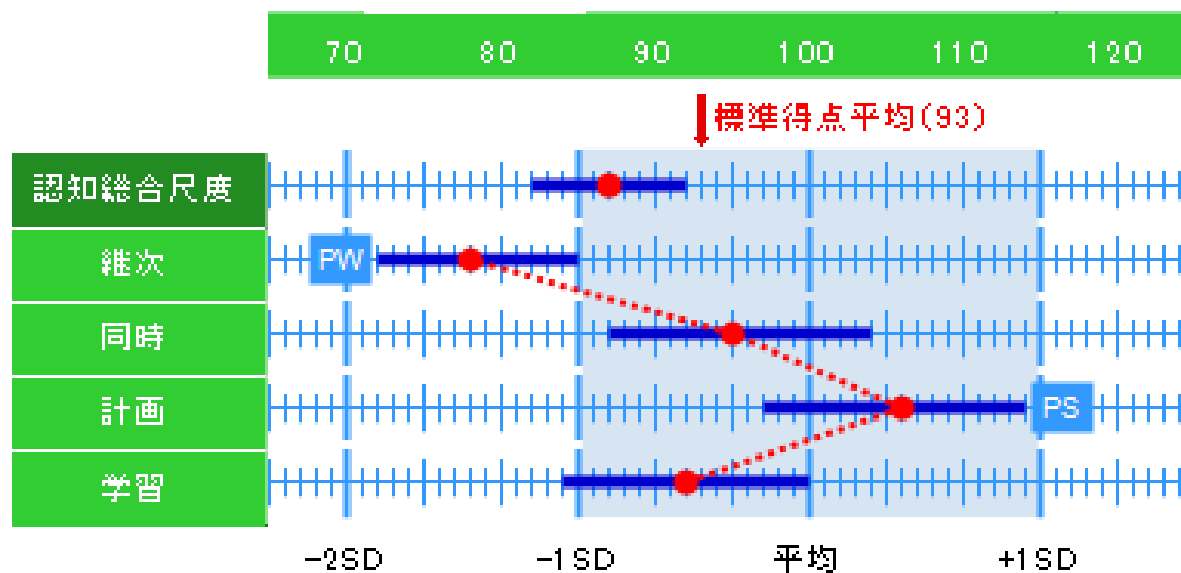


初めて「発音絵記号」で指導したA君の 単語テストに向けた事例 (平成26年度)

平成26年秋、受検までにあと4か月で出会った中学3年生のA君。
英語の授業中は寝ているか、他教科の提出物をやっており、英語は諦めている状況。
アルファベットの音素は10文字程度しか習得していなかった。

まず、A君の認知特性や読みの特性をアセスメントした

KABC-IIを実施すると、英語LDの生徒の多くにみられるような典型的な認知特性のアンバランスがあった。



英語LDの生徒の多くにみられるような、ひらがな拗音のつまずきもあった。

氏名: _____ 性別: 男・女
生年月日: _____ 年 月 日 (歳 月 日) 学年: 中学 年生

は	びょ	げ	い	りゅ	び	ぜ	じょ	と	よ
		び				ぜ			
みょ	て	びゅ	お	ぼ	にょ	え	ら	にゃ	ず
にょ									
ぬ	ぎゅ	む	びゅ	じゅ	か	きゅ	ちゅ	そ	ぎゅ
し	ぐ	しゃ	きょ	っ	ひゅ	さ	べ	しゅ	に
					りゅ				
ちゃ	の	が	ま	ぶ	じ	りゃ	れ	く	びゃ

合計時間: 26.0 秒 読み飛ばし: 0 個 読み誤り: 3 個 自己修正: 0 個 読頭音繰り返し: 1 個

耳からの情報を順番に処理して記憶しておく力は苦手だが、視覚的な情報での対連合記憶やルールをみつけたりする力は平均的な力があることが分かった。

中学3年生で拗音の読み間違いがまだみられるということは、フォニックス指導でも子音と母音のブレンディングが苦手なことが予想できた。

アルファベット音素の獲得と単語の読み練習

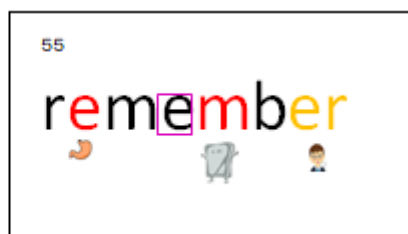
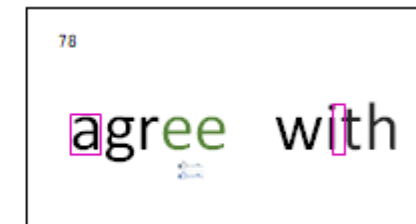
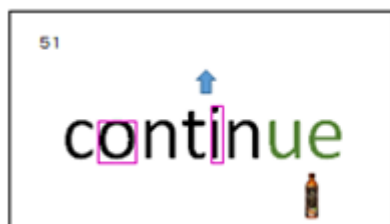
そのA君との個別指導で初めて「発音絵記号」を用いてみた。



何と! 1単位時間内にアルファベット26文字の音素を覚えてしまった。
「発音絵記号」付き小文字カードを並べて、
簡単な英単語をよむことができた。



冬休み明けのテストの単語課題は、母音のタイプ別に分類し、「発音絵記号」付きのPP教材を作った。R君は、英単語を讀んでみようとしてパソコン画面に身を乗り出した。



中学3年 冬休み明けの英単語テストで

冬休み明けの英単語テストでは、再テスト、再々テストに向けて、頑張ろうとする意欲が見られた。

↓

各20問中の正解数

	本テスト	再テスト	再々テスト
読み→意味課題	2	14	20
意味→書き課題	0	9	16

↓

「発音絵記号」はなくても
母音がどのタイプかが分かるヒントがあれば英単語が読めるという自信を持って、
地元県立高校に進学できた。

↓

もともと学習障害があるのに見逃されていたので、高校での学習は若干大変ではあったようだが、無事卒業でき、今は県内で一般就労できている。